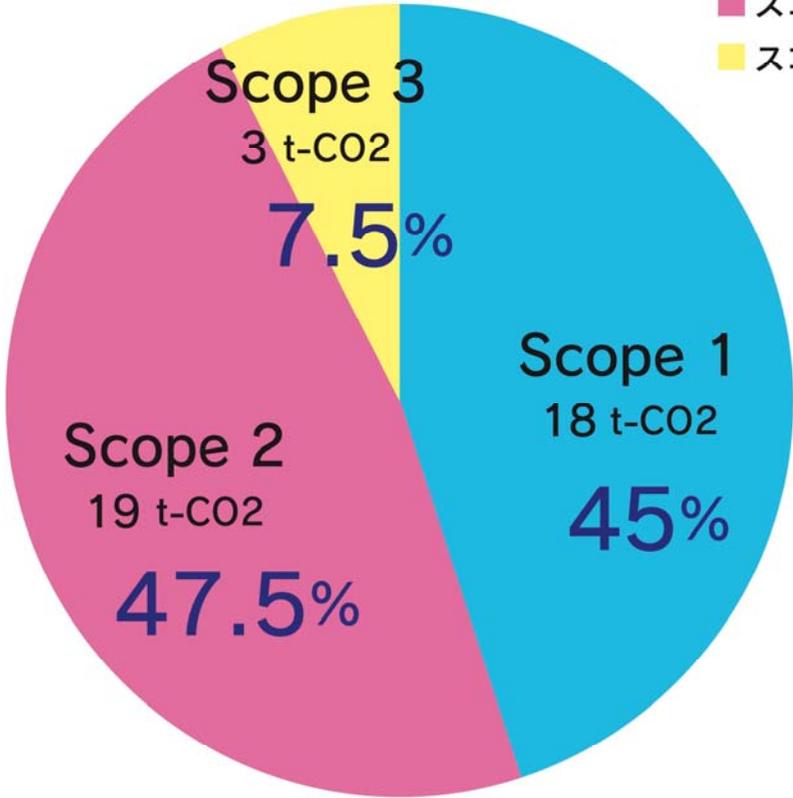


株式会社篠原化学

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業● 事業概要：寝具の企画、製造、卸し、輸入、販売● 事業規模：資本金2000万円、従業員11名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標 2030年に2018年比で 50.4%削減 本社、ショールーム、倉庫の電力の再エネ化を推進</p> <p><再エネ100%の目標について> 目標 2030年までに再エネ100%達成</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> Scope3カテゴリ12: 2030年に2018年比で50%削減 サプライヤーとの連携により、CO2排出の少ない素材への移行 容器包装の軽量化 リサイクルの推進等に取り組む</p>

株式会社篠原化学

項目	内容													
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 <p>Scope 1,2,3の割合グラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : [tCO2]18 												
	 <p>■ スコープ1 ■ スコープ2 ■ スコープ3</p> <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Scope</caption> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Amount (t-CO2)</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope 1</td> <td>18</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>Scope 2</td> <td>19</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>Scope 3</td> <td>3</td> <td>7.5%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	Amount (t-CO2)	Percentage	Scope 1	18	45%	Scope 2	19	47.5%	Scope 3	3	7.5%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : [tCO2]19
	Scope	Amount (t-CO2)	Percentage											
Scope 1	18	45%												
Scope 2	19	47.5%												
Scope 3	3	7.5%												
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : [tCO2] 3 <p>目標の対象セクター： カテゴリ12 販売した商品の廃棄</p>													

株式会社篠原化学

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来的に原材料調達に重大な変化が生じる可能性や、対策の遅れが商品開発に支障をきたすことが懸念される ● 取引先、消費者のSDGsへの関心が高まり、サプライヤーに対しても、今後GHGの削減要請が高まることが想定される ● 自社の省エネ活動の促進や、安価な再エネの導入によって、エネルギーコストの削減が実現できれば、販路の拡大及び生産や調達のコストの削減につながる可能性がある ● 自社の省エネ製品の普及が促進される可能性や、率先して自社が対策に取り組むことによる外部企業評価の向上が期待される
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界的に環境への配慮が叫ばれている中、弊社も寝具製品の企画製造販売を行う一環として、輸送時のエネルギーを削減したり、廃棄物の削減などに取り組んでいきたい。 ● 環境負荷を数値化・見える化することで、より具体的な目標を掲げて進められる。 ● SDGsへの取り組みの一つとして環境への配慮、温暖化対策の削減目標を設定し、自社のHPに掲載したい。 ● 病院、介護施設、ホテル、旅館など寝具を扱う企業と、環境への負荷を減らしていく連携を図りたい。 ● 従来製品よりエネルギー消費量が少ない製品を開発・販売したい。

株式会社篠原化学

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 本事業によりScope1,2およびScope3（カテゴリ12）の排出量を把握しSBT水準での目標を設定した。また排出量削減に向けた今後の対応策を社内にて検討した。 ＜検討内容＞<ul style="list-style-type: none">・再エネ電力メニューに切り替えるため、複数の電力会社から提案を集め、最適な会社と契約。・トラックの買い替え時期を検討し、EV車などの情報を収集。・サプライヤーから新素材や新たな輸送方法などの情報収集し、検討する。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1 の削減において、ガソリン車をEV車に変えることが必要である。● Scope2の削減において、再エネ電力メニューに変えることが必要である。● Scope3のカテゴリ12の削減目標の達成のために、サプライヤーとの協働が必要である。